

▶ 選考日程

2016年

3月

募 集 発 表

4月1日~
5月31日

オンライン登録期間

5月~6月

予 備 審 査

7月31日
(消印有効)

申請書類一式の提出締切日

9月~10月

書 類 審 査 実 施

10月~11月

面 接 審 査 実 施

12月

選 考 結 果 の 通 知

2017年

5月1日

受 け 入 れ 機 関 決 定

7月~

渡 米



フルブライト・プログラムは、第二次世界大戦終了直後の1945年、「世界平和を達成するためには人と人との交流が最も有効である」との信念のもとにウィリアム・フルブライト上院議員が米国議会で提出した法案に基づいて発足した、米国と諸外国との相互理解を目的とする人物交流事業です。

日米間のフルブライト・プログラムは、日米両国の共同管理、自治運営による日米教育委員会（フルブライト・ジャパン）によって運営され、所属機関・居住地・人種および信条に関係なく応募者個人の資質に基づいて選考する一般公募の奨学金制度として国際的な評価を得ています。

このプログラムは日米両国政府からの資金に加え、公益財団法人日米教育交流振興財団（1986年発足）および民間からも資金援助を受けています。

2016年度は以下の方々から奨学生一名分以上のご寄付・ご支援をいただく予定です。（アイウエオ順）

- サム・ジェームソン基金
- 志野義治基金
- 全日本空輸（株）（航空券の提供）
- デルタ航空会社（航空券の提供）
- 中川浩二基金
- 三上泰永基金
- 三菱グループ
- （財）吉田育英会
- ロバート G. ベーカー基金

(2016年2月現在)

日米教育委員会（フルブライト・ジャパン）

〒100-0014
東京都千代田区永田町2-14-2 山王グランドビル207
Tel: 03-3580-3233 Email: program@fulbright.jp
f <https://www.facebook.com/fulbrightjapan>



詳しくはWEBで

www.fulbright.jp

2017年度 日本人対象アメリカ留学

奨学生募集 フルブライト

日米両国政府による留学制度

FULBRIGHT
JAPAN

The Fulbright Experience for Global Leaders

▶ 給付内容

給付内容は奨学金プログラム、留学先等により異なります。
詳細は各プログラムの説明も合わせてお読みください。

- **大学院留学および大学院博士論文研究プログラム:** 往復渡航旅費、往復荷物手当、滞在費、住居手当、家族手当、図書費、着後雑費、授業料(上限あり)
- **研究員およびジャーナリストプログラム:** 往復渡航旅費、往復荷物手当、滞在費、住居手当、家族手当、研究費、着後雑費

さらに、疾病・傷害をカバーするフルブライトグループ保険(本人のみ)が含まれます。ただし、給付内容は、両国政府から委員会に交付される資金の額、あるいは応募者個々の他の財源などを考慮に入れて調整されることがあります。

▶ 全プログラムに共通する応募資格要件

1. 日本国籍を有すること。
(日米の二重国籍者あるいは米国永住権を持つ者は応募不可)
2. 日本在住の者。
3. 米国で支障なく学術活動が行えるだけの十分な英語能力があること。また、学術的能力のみならず、高いコミュニケーション能力があること。
注) 大学院留学および大学院博士論文プログラムに申し込む場合には英語能力を証明するため、2014年6月1日～2016年5月31日実施されるTOEFLあるいはIELTSを受験し、TOEFL(iBT) 80以上、またはIELTS 6.0以上を取得し、スコアレポートを提出することが必要です。
4. 米国で研究を計画しているテーマに関する専門知識に限らず、広い視野と関心を有すること。
5. 米国で支障なく学術活動が行えるよう、心身ともに健康であること。

下記に該当する者は対象から除く。

- 勉学、研究、講義を行うためにすでに渡米中の者あるいは2017米国学年度以前に留学(語学留学を含む)を(予定)している者。
- 2016年7月31日時点からさかのぼって6年間の内、継続して「5年間」米国に在住していた場合は応募対象外。* 大学での勉強、研究等の場合は「1年間」は所属機関の「1学年度」とみなす。
例: 1学年度=9か月の場合、9か月×5年でも「5年間」とみなす。
- 2016年7月31日から2016年6月30日の間、通算90日を超える海外渡航を予定している者。

▶ 奨学金の対象となる学術分野

米国および日本、さらにはグローバル社会に関連した人文・社会科学分野および、それと直接関連した学際的な分野で、特に以下の領域の研究を奨励します。

1. 米国の研究
2. 環太平洋地域の政治・経済関係
3. 現代社会の諸問題
4. グローバル社会の課題
5. 教育

大学院留学プログラム

2016年度までの「大学院留学(学術系学位)プログラム」と「大学院留学(専門職学位)プログラム」は統合して「大学院留学プログラム」ひとつとなります。

フルブライト交流事業の目的を十分理解し、人格面および学業面で優れた若者に米国大学院での研究の機会を与える。米国の大学院博士課程・修士課程に正規の学生として在籍し、学位取得のための科目履修を通して研究を行う。

| | |
|-------|---|
| 採用予定数 | 約20名(「大学院博士論文研究プログラム」を含む) |
| 開始時期 | 2017年秋学期 |
| 給付期間 | 1年目(原則として12か月。1年プログラムの場合には終了時まで。)は「授業料40,000ドルを上限」とする。他に生活費、家賃手当等も別途支給。 2年目は授業料、生活費等すべて含め「上限25,000ドルまで」更新の可能性がある。ただし「専門職学位」取得希望の場合は2年目の支給はない。 更新は1年目の学業成績、財政援助の必要度および委員会の資金により決定するものであり、自動的に更新されることはない。3年目以降の奨学金の更新はない。 |

大学院博士論文研究プログラム

若手研究者を対象とし、日本の大学に博士論文を提出することを目的として、米国の大学で単位取得を伴わない研究を行う。大学院レベルのゼミを聴講することはできるが、単位取得のための科目履修はできない。

| | |
|-------|-----------------------|
| 採用予定数 | 約20名(「大学院留学プログラム」を含む) |
| 開始時期 | 2017年秋学期あるいは2018年春学期 |
| 給付期間 | 6～10か月 |

研究員プログラム

大学教員、政府機関あるいは非営利研究機関勤務者を対象とし、米国の大学等で各自のテーマに沿って、単位取得を伴わない研究を行う。

| | |
|-------|-------------------------|
| 採用予定数 | 約10名 |
| 開始時期 | 2017年9月1日以降、2018年4月1日以前 |
| 給付期間 | 3～9か月 |

ジャーナリストプログラム

経験5年以上の現役ジャーナリストを対象とし、米国の大学等で各自の研究テーマに沿って、単位取得を伴わない研究を行う。(ジャーナリズムの技術面の研修や理論の研究は除く。)

| | |
|-------|-------------------------|
| 採用予定数 | 若干名 |
| 開始時期 | 2017年9月1日以降、2018年4月1日以前 |
| 給付期間 | 3～9か月 |

選考日程の異なるプログラム フルブライト語学アシスタント(FITA)プログラム

米国の大学で日本語を教えながら、自身の英語教育のスキル、英語能力、および米国の社会や文化についての知識を深めることを目的とした9か月間のアメリカ留学奨学金プログラムです。詳しくはウェブでご確認ください。